

第6期（第3回）亀田地区公民館運営審議会

次 第

日時：平成30年7月6日（金）

午後2時～

会場：亀田地区公民館 講座室1

1 開 会

2 議事・報告事項

（1）平成29年度事業報告（事業評価）について

① 亀田地区公民館

② 曾野木地区公民館

③ 横越地区公民館

（2）平成30年度事業計画について

① 亀田地区公民館

② 曾野木地区公民館

③ 横越地区公民館

（3）その他

3 閉 会

平成29年度 公民館事業報告

亀田地区公民館		[H30.03.31現在]													
重点化	番号	事業名	事業内容	H29 予算 (千円)	H29 決算 (千円)	開設 数	対象	回数	時間	開催月	募集 人数	応募 人数	参加 者数	延参 加数	連携・共催 (特記事項)
1. 地域コミュニティ活動の活性化を支援する事業	1	お亀楽縁	地域の希薄な関係を見直し、近所同士で気軽に助け、支え合える関係づくりをサポートすると共に、地域課題解決のための人材を育成する	70	19	1	総合	6	午後	5.7.9.11 1.3月	-	-	64	64	江南区社会福祉協議会
	2	活動協力員実施事業 かめだ散歩とはじめての俳句	かつて多くの俳人を生み出した亀田の町の2地区を散策して俳句を詠むことにより、地域を身近に感じて愛着を持つことを目的とする	85	42	1	総合	4	午前	9~10月	20	24	20	65	亀田地区公民館活動協力員
2. 学・社・民の融合による人づくり、地域づくりを推進する事業	3	子ども夏まつり in KAMEDA	亀田地区青少年育成協議会と連携し、科学に関する工作体験活動を実施	-	-	1	少年	1	午後	8月	-	-	98	98	育成協予算
	4	青少年健全育成講演会	亀田地区青少年育成協議会と連携した講演会	-	-	1	成人	1	午後	12月	-	-	209	209	育成協予算
	5-1	ふれあいスクール事業 【公民館出前講座】 亀田中学校	フラワーアレンジメント、お正月飾りづくり	-	13	1	総合	2	午前	11月	10	16	13	17	亀田中コーディネーター 花壇ボランティア活動
	5-2	ふれあいスクール事業 【公民館出前講座】 丸山小学校	6年生のキャリア教育の授業「すし職人の講話及び調理実習」を活用した地域住民の学びの場	-	8	1	総合	1	午前	11月	6	6	51	51	丸山小コーディネーター (児童45人・大人6人)
	6	プレママパパ講座	妊娠中の親が安心して子育てができるための講座	37	35	1	成人	3	午前	5~6月	20	21	21	30	
3. 家庭における教育力向上を支援する事業	7	乳児期家庭教育 【ゆりかご学級2期】	乳児期の家庭教育における課題を学び合う	206	143	1	成人	5	午前	6~7月	30	15	15	61	
	8	乳児期家庭教育 【ゆりかご学級4期】	乳児期の家庭教育における課題を学び合う	206	12	1	成人	5	午前	1~2月	30	25	23	100	
	9	幼児期家庭教育学級	幼児期の家庭教育における課題を学び合う	131	149	1	成人	5	午前	10~11月	20	52	24	101	
	10	児童期家庭教育学級	児童期の家庭教育における課題を学び合う	81	66	1	成人	4	午前	6~7月	20	29	28	82	
	11	父親学級	父親としてのあり方を考える。	41	16	1	成人	8	午前 午後 夜間	6~9月	20	8	8	64	
	12	カムかめねっと編集	子育て情報誌の編集	30	28	1	成人	15	午後	4~3月	-	-	54	54	
	13	プチプチひろば	0歳児と保護者のための居場所	16	0	1	総合	24	午前	通年	-	-	571	571	毎月第2・4火曜日開催
	14	おはよう朝ごはん料理講習会【早通小コミ協】	子どもたちの基本的な生活習慣の形成と地域・家庭の教育力の向上及び地域づくり・組織づくりを推進	-	0	1	総合	1	午前	11月	30	30	30	30	予算はコミ協・生涯学習センター
4. 青少年の生きる力を育む事業	15	中・高校生向け学習室	第2・第4土曜日に学習室を開放	1	1	1	青年	24	午前 午後	4~3月	-	-	71	71	
	16	学習室【夏休み・春休み】 (音楽室開放含む)	夏休み及び春休み期間中、学習室の開放	-	0	2	青年	65	午前 午後	7~8月 3月	-	-	272	272	夏休み、春休みに実施
	17	子ども体験事業	学校区を超えての仲間と様々な体験を通じ、助け合うこと・協力することを学ぶ	102	17	2	少年	2	午前 午後	8月 3月	55	24	24	24	3月実施は新大生の自主企画
5. 高齢者の学習や社会参加を支援する事業	18	福寿大学	高齢者の自主活動の支援、生きがいを見出す	160	160	1	高齢者	191	午前 午後	4~3月	-	-	4,608	4,608	
6. 現代的課題を探り、解決を支援する事業	19	芸術に親しむセミナー	芸術に親しむための講座を開催 (初級カメラ講座)	30	19	1	成人	3	午後	10月	10	14	10	29	
	20	江南区文化会館合同事業 たまたまKOBU	公民館・図書館・郷土資料館との連携事業を行うことで、利用者の拡大と交流を図る事業	-	18	1	総合	1	午前 午後	9月	-	-	102	102	
7. その他	21	公民館体験学習	3月の学習サークル活動日に一般市民の方から各体験してもらい、サークル活動に関心を持つきっかけづくりとする	0	0	1	成人	19	午前 午後	3月	-	-	7	7	
	22	かめだ音楽祭	合唱・演奏団体の発表	76	24	1	総合	1	午前 午後	11月	12	13	13	399	かめだ音楽祭実行委員会 (会議3回開催)
	23	亀田地区市民文化展	作品展示・茶席ほか	208	153	1	総合	1	午前 午後	11月	-	-	16	2,024	
合 計				1,480	923	26	-	392	-	-	283	277	6,352	9,133	

※決算額は年度途中のため、見込みの数字となります。
 ※「24:かめだ音楽祭」と「25:亀田地区市民文化展」の「参加者数」は参加団体数。「延参加数」は入場者数です。

大江山公民館		[H30.03.31現在]													
重点化	番号	事業名	事業内容	H29 予算 (千円)	H29 決算 (千円)	開設 数	対象	回数	時間	開催月	募集 人数	応募 人数	参加 者数	延参 加数	連携・共催 (特記事項)
1. 地域コミュニティ活動の活性化を支援する事業	1	大江山地域学事業	大江山地区の歴史を見つめ直すことで、地域の宝を再発見し、後世への継承と地域活性化を図る	-	6	1	総合	1	午後	3月	50	-	34	34	大江山コミュニティ協議会 大江山地域学習会
7. その他	2	文化とスポーツの祭典	作品展示、芸能発表、各種スポーツ大会	-	-	1	総合	1	午前 午後	11月	-	-	800	800	文化とスポーツの祭典実行委員会主催
合 計				0	6	2	-	2	-	-	50	0	834	834	

※決算額は年度途中のため、見込みの数字となります。

平成29年度 公民館事業報告

[H30.03.31現在]

曾野木地区公民館													[H30.03.31現在]		
重点化	番号	事業名	事業内容	H29 予算 (千円)	H29 決算 (千円)	開設 数	対象	回数	時間	開催月	募集 人数	応募 人数	参加 者数	延参 加数	連携・共催 (特記事項)
1. 地域コミュニティ活動の活性化を支援する事業	1	まなびやサロンそのき	年間をとおして子どもから高齢者までが楽しめる学びの場。フルート演奏・スイカ割り大会・落語・マジックなど。	60	49	1	総合	12	午前 午後	通年	—	—	838	838	社会福祉協議会・曾野木小学校教育コーディネーター・まなびやサロン企画委員・公民館活動協力員
			企画会議	0	—	—	—	12	—	—	—	—	10	140	
2. 学・社・民の融合による人づくり、地域づくりを推進する事業	2	おとなの雑学	てづくり楽校(こけ玉づくり)	0	8	1	総合	1	午前	2月	15	11	11	11	曾野木・東曾野木・両川小学校教育コーディネーター
	3		てづくり楽校(多肉植物アレンジメント)	0	—	—	—	1	—	—	15	21	15	15	
	4		てづくり楽校(お祝い膳)	0	—	—	—	1	—	—	—	24	30	28	28
3. 家庭における教育力向上を支援する事業	5	乳児期家庭教育学級(ゆりかご学級)Ⅰ期	乳児期のころと身体の発達について考える。	169	21	1	成人	5	午前	5~6	30	24	24	109	
			保育	—	162	—	乳児	5	—	—	20	24	24	110	
	6	幼児期家庭教育学級	幼児期のころと身体の発達について考える。子どもといっしょにステップアップ	131	35	1	成人	5	午前	6~7	30	39	34	203	
			企画会議	—	0	—	成人	5	—	2~5	—	—	3	22	
			保育	—	168	—	乳幼児	4	—	6~7	18	36	36	110	
	7	子育てサロンぽっかぽか	親子の居場所と情報交換	0	0	1	成人	21	午前	毎月第2.4月曜日	—	—	270	270	
			保育者交流会	10	0	1	成人	2	午前	10月・3月	—	—	10	20	
	4. 青少年の生きる力を育む事業	9	そのキッズ	子どもきもだめし大会	0	0	1	少年	1	夜間	7	30	84	81	81
子どもきもだめし大会企画会議				—	—	—	成人	3	—	5~7	—	—	36	67	
子ども料理教室(曾野木小学校)				0	0	1	少年	1	午前	8	20	35	20	20	
子ども料理教室(東曾野木小学校)				0	0	1	少年	1	午前	12	32	18	18	18	
10		子どもの居場所	夏休み子ども映画会	0	0	1	少年	1	午後	7	—	—	169	169	ひまわりクラブ
			小中高生フリースペース	4	4	1	少年	347	午前 午後	通年	—	—	633	633	
14	学習室開放事業	個人学習の支援	0	0	1	総合	83	午前 午後	4.7~8 12~1.3	—	—	253	253	毎月第1・3土曜日 長期休み(春・夏・冬)	
		高齢者がいきいきと楽しく学べるもの 貯筋運動講座	73	72	1	高齢者	5	午前	3	40	63	63	149	公民館活動協力員	
6. 現代的課題を探り、解決を支援する事業	16	そのき市民学級	現代的課題とタイムリーな話題を取り上げ学習する	120	47	1	総合	7	午前	6~12	100	96	96	418	そのき市民学級実行委員会
			企画会議	—	—	—	—	8	午前 午後	2~5	—	—	4	32	
	17	共生セミナー	男女共同参画社会の実現に向けて自身の生き方を考え共に生きる社会の在り方を学ぶ。	140	28	1	成人	5	午前	10~11	30	41	37	133	企画委員(前年度受講生)・公民館活動協力員(広津裕昭様)
企画会議			—	0	—	—	5	—	8~10	—	—	8	30		
7. その他	18	そのきミュージックフェスティバル	洋楽器、コーラスの発表	0	0	1	総合	1	午後	7	—	—	180	180	実行委員会
			企画会議	—	—	—	—	2	夜間	6~7	—	—	5	10	
	19	曾野木地区文化祭	作品展示、チャリティバザー、音楽芸能発表会など	10	0	1	総合	1	午前 午後	10	—	—	751	751	実行委員会
企画会議			—	—	—	—	2	午後	8~10	—	—	18	37		
合 計				717	678	17	—	551	—	—	424	545	3,698	4,908	

[H30.03.31現在]

両川公民館													[H30.03.31現在]		
重点化	番号	事業名	事業内容	H29 予算 (千円)	H29 決算 (千円)	開設 数	対象	回数	時間	開催月	募集 人数	応募 人数	参加 者数	延参 加数	連携・共催 (特記事項)
4. 青少年の生きる力を育む事業	1	子どもの映画会	夏休み子ども映画会	0	0	1	少年	1	午後	8	—	—	5	5	
			子ども体験教室	ヒップホップダンス 異年齢児童がかかわる中で集団での協調性や主体性を養い、仲間づくりを進める	0	13	1	少年	1	午前	8	20	13	13	13
6. 現代的課題を探り、解決を支援する事業	3	両川元気塾	元気と運気をUPする香りの生活	0	26	1	総合	2	午後	3	20	23	23	45	
7. その他	4	両川地区文化祭	作品展示、チャリティバザーなど	0	0	1	総合	1	午前 午後	11	—	—	122	122	利用団体連絡協議会
			企画会議	—	—	—	—	2	午後	6・7	—	—	10	16	
合 計				0	39	4	—	7	—	—	40	36	173	201	

平成29年度 公民館事業報告

横越地区公民館		[H30.03.31現在]													
重点化	番号	事業名	事業内容	H29 予算 (千円)	H29 決算 (千円)	開設 数	対象	回数	時間	開催月	募集 人数	応募 人数	参加 者数	延参 加数	連携・共催 (特記事項)
1. 地域コミュニティ活動の活性化を支援する事業	1	横越地区昔話語り部養成講座 part2	昔話を通して、地域の方言・生活文化を伝え、一層の文化・伝統の醸成を図る	206	138	1	総合	12	午前	6~10 2.4土曜	-	-	18	165	横越昔話語り部サークル
	2	婚活「蕎麦打ち体験」	少子・高齢化が大きな社会課題と成っている中、地元で収穫された蕎麦粉を使い「そば打ち体験」を通して男女の出会いの機会を提供	210	73	1	成人	1	午前 午後	11	50	24	24	24	横越コミュニティ協議会
	3	横越地区親善スポーツ大会	ソフトバレーボールを通じて、地域の連帯意識の向上と親睦を図る。	65	43	1	総合	1	午前 午後	6	-	98	98	98	自治会 横越コミュニティ協議会 横越スポーツ振興会
	4	よこごしふれあいウォーク2017	横越地区内のポイントをつなぐウォークにより、地域を知らながら親睦を図る	65	66	1	総合	1	午前 午後	10	-	-	375	375	自治会 横越地区青少年育成協議会、横越コミュニティ協議会
	5	文化祭	横越地域で活動している市民の作品展示およびイベント	334	270	1	総合	1	午前 午後	11	-	-	450	450	
	6	新春俳句大会	発表会と親睦を兼ねた俳句会	15	15	1	成人	1	午前	1	-	-	18	18	俳句会
2. 学・社・民の融合による人づくり、地域づくりを推進する事業	7	ふれあいスクール出前型	中学校・地域教育コーディネーターと連携し、中学校を会場に実施	46	6	1	成人	1	午前	2	20	12	12	12	横越中学校地域教育コーディネーター、江南区総務課
3. 家庭における教育力向上を支援する事業	8	乳児期家庭教育学級【ゆりかご学級3期】	乳児期の子どもの発達や家庭教育の重要性を学ぶ	178	175	1	成人	5	午前	9~10	30	19	19	83	
	9	幼児期家庭教育学級	幼児期の子どもの発達や家庭教育の重要性を学ぶ	113	102	1	成人	4	午前	6~7	20	16	14	51	
	10	児童期家庭教育学級	児童期の子どもの発達や親子のコミュニケーションの重要性を学ぶ	86	47	1	成人	4	午前	11~12	15	8	17	42	第3回目は公開講座
	11	思春期家庭教育学級	思春期の子どもの発達、親子のコミュニケーションを深めるためのスキルを学ぶ	54	38	1	成人	3	午前	2~3	15	16	13	32	
	12	子育てひろば	乳幼児の親子の仲間づくり、情報交換、親子遊び、絵本の読み聞かせ	125	118	1	成人	22	午前	毎月 1.3火曜	-	-	-	253	
4. 青少年の生きる力を育む事業	13-1	子ども体験活動	小学生対象の夏・冬・春休み時に実施する体験事業	129	86	1	少年	2	午前 午後	8	40	78	40	80	がっつり塾夏
	13-2	同上	同上	-	-	1	少年	1	午前 午後	8	-	13	13	13	ミニがっつり塾夏
	13-3	同上	同上	-	-	1	少年	1	午前 午後	12	30	53	42	42	がっつり塾冬
	13-4	同上	同上	-	-	1	少年	1	午前	3	30	18	18	18	がっつり塾春
	14	夏・冬・春学習室開放	長期休暇中の小・中・高校生対象に学習室を開放	-	-	1	青少年	50	午前 午後	7・8 12・3	-	-	-	200	
	15	夏休み子ども映画会	DVD上映	-	-	1	総合	1	午前	8	-	-	40	40	
5. 高齢者の学習や社会参加を支援する事業	16	いきいきセミナー	生きがいと教養を身につける高齢者対象の講座	73	79	1	高齢者	6	原則午前	10~12	27	20	20	88	
6. 現代的課題を探り、解決を支援する事業	17	プロのパン職人によるパン作り教室	地元の食材を生かしたパン作り	-	46	1	成人	4	午前	9~12	10	13	10	40	
	18	地下道清掃	横越出張所付近の地下道を中学生を中心に、小学生や教員・保護者及び近隣住民で清掃する。	-	21	1	総合	1	午前	10	-	-	43	43	横越小・中学校、横越コミ協、JA
	19	女性講座「10歳若返る自分」	普段公民館に足を向けることが少ない女性に対し、更年期障害や体について考える機会を提供、公民館事業に興味を持ってもらう	-	27	1	成人	4	午前	1~2	30	20	20	78	
	20	イライラと上手につき合う方法	アンガーマネジメントを学び、自分のイライラや子育てのイライラについて知る	-	45	1	総合	2	午前	3	30	21	21	42	
	21	里親説明会	里親制度について、児童相談所の職員から説明する	-	-	1	総合	1	2	3	-	-	6	6	
合 計				1,699	1,395	24	-	130	-	-	347	429	1,331	2,293	

平成29年度事業評価シート(亀田地区公民館)

総事業数(24)

1. コミュニティ(2) 2. 学社民(4) 3. 家庭教育(9) 4. 青少年(3) 5. 高齢者(1) 6. 現代的課題(2) 7. その他(3)

重点名	1. 地域コミュニティ活動の活性化を支援する事業				2. 学・社・民の融合による人づくり、地域づくりを推進する事業				3. 家庭の教育力の向上を支援する事業				4. 青少年の生きる力を育む事業			
事業数	2 事業 ・お亀楽縁 ・かめだ散歩とはじめての俳句				4 事業 ・子ども夏まつりinKAMEDA ・青少年健全育成演会 ・ふれあいスクール(公民館出前:2)				9 事業 ・家庭教育学級(6) 〈ブレ、乳児2、幼児、児童、父親〉 ・情報誌「かむかめネット」発刊 ・子育てサロン「プチプチひろば」 ・おはよう朝ごはん料理講習会(1)				3 事業 ・中高生向け学習室 ・学習室【夏休み・春休み】 (音楽室開放含む) ・子ども体験事業			
ねらい	地域課題・社会的課題をテーマに地域住民等による学習機会を提供し、地域コミュニティづくりの推進と人材育成の支援を行う。				学・社・民の総合連携により、豊かな人間性を培い、地域教育力の向上を支援する。				家庭教育の自主性を尊重しながら、乳児期・幼児期・児童期等の子を持つ親に学習機会を提供するとともに仲間づくりの支援を行う。				体験学習を通じた異学年交流を積極的に展開し、青少年の健全育成を図る。			
成果		目標値	結果	コメント		目標値	結果	コメント		目標値	結果	コメント		目標値	結果	コメント
	サークル結成数	-	1	かめだ散歩	サークル結成数	-	-		サークル結成数	-	2	ゆりかご学級(乳児期)	サークル結成数	-	-	
	企画委員希望者数	/	-		企画委員希望者数	/	-		企画委員希望者数	/	13	幼児(5)、児童(3)、父親(5)	企画委員希望者数	/	-	
	受講者の満足度(平均値)	80%	100	かめだ散歩	受講者の満足度(平均値)	80%	100%	ふれあいスクール	受講者の満足度(平均値)	80%	91%	全家庭教育学級	受講者の満足度(平均値)	80%	100%	子ども体験
	受講者の気づき(平均値)	80%		アンケート未実施	受講者の気づき(平均値)	80%	63%	ふれあいスクール	受講者の気づき(平均値)	80%	90%	全家庭教育学級	受講者の気づき(平均値)	80%	89%	子ども体験
	その他成果(品)及びその活用等	/		かめだ散歩(文化展出品)	その他成果(品)及びその活用等	/			その他成果(品)及びその活用等	/		ゆりかご学級(文集作成) 子育て情報を発刊	その他成果(品)及びその活用等	/		
評点		評点	コメント			評点	コメント			評点	コメント			評点	コメント	
	必要性(平均値)	3.5	活動協力員の企画運営は今後必要である		必要性(平均値)	4	育成協、学校との連携は今後必要である		必要性(平均値)	3.8	特に家庭教育学級の満足度は高く、企画委員の希望も多い		必要性(平均値)	4	学校、家庭ではできない体験は今後継続が必要である	
	有効性(平均値)	3.5			有効性(平均値)	4	連携先の目的を共有した事業企画を更に検討する		有効性(平均値)	3.4	家庭教育学級において、実施方法など検討が必要である		有効性(平均値)	3.3	各種連携先を今後も検討しらしい	
	効率性(平均値)	3.5	運営方法など今後検討が必要である		効率性(平均値)	4	各種団体との連携により効率的な事業となった		効率性(平均値)	3.6	区健康福祉課や社会福祉協議会など連携を考える		効率性(平均値)	4	インターンシップの学生による実施は互いに効果的だった	
評点区分	4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分				4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分				4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分				4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分			
改善点	地域の茶の間事業について、世代を問わず利用者の幅は広がっているが、活動を支え、運営する人材の発掘、育成が必要である。				連携先との実施後の検証を行うことで、企画や実施方法の検討を行い、さらに効果的な事業実施につなげる必要がある。				家庭教育学級(連続講座)について、開催形態などの検討が必要である。今後は、より効果的な事業成果につなげるためにも積極的に連携先を模索する必要がある。				インターンシップの学生との事業を行ったが、今後は互いの役割の明確化や経験の蓄積により、さらに効果的な実施にする必要がある。			
館長評価	A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D
		1		1		4				9			1	2		
	<コメント> 人材が固定化され、地域づくりのリーダー育成が遅れていると感じる。地域のニーズを丁寧に聴き取りながら人材育成を進めてほしい。				<コメント> 学校や育成協などとの連携により効果的な事業を実施することができる。今後はさらに連携先を模索し役割りを明確に事業に取り組んでほしい。				<コメント> 講座の企画に限らず運営方法などについても、企画委員や地域住民の意見を取り入れながら実施してほしい。				<コメント> 大学生の協力により事業に幅が出ている。また、学生にとっての経験の場、子どもにとって世代交流の場、公民館にとっては今後の人材育成の場になるよう、今後の取り組みに期待します。			
評価区分	A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止				A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止				A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止				A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止			

重点名	5. 高齢者の学習や社会参加を支援する事業				6. 現代的課題を探り、解決を支援する事業			
事業数	1 事業 ・福寿大学				2 事業 ・芸術に親しむセミナー ・たまたてKOBU(文化会館合同)			
ねらい	超高齢化社会を迎える中で、高齢者自らが生きがいや教養を身につけ地域社会に共存できるよう支援する。				暮らし、生きがいをテーマに講座を実施し、これからの生きがいづくりを支援する。また、複合施設の特性を活かし世代間交流や仲間づくりの場を提供する。			
成果		目標値	結果	コメント		目標値	結果	コメント
	サークル結成数	-	-		サークル結成数	-	1	芸術に親しむセミナー
	企画委員希望者数	/	-		企画委員希望者数	/	-	
	受講者の満足度(平均値)	80%	-	アンケート未実施	受講者の満足度(平均値)	80%	100	
	受講者の気づき(平均値)	80%	-	アンケート未実施	受講者の気づき(平均値)	80%	84	
その他成果(品)及びその活用等	/			その他成果(品)及びその活用等	/		芸術に親しむセミナー(文化展出品)	
評点		評点	コメント			評点	コメント	
	必要性(平均値)	2	高齢者の学び、つながる場として今後も必要である		必要性(平均値)	4	利用者の拡大、多世代によるサークル化は今後も必要	
	有効性(平均値)	2			有効性(平均値)	3	施設の可能性を今後も求めていきたい	
	効率性(平均値)	3	運営委員による実施		効率性(平均値)	4	連携先との役割の明確化など検討していきたい	
評点区分	4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分				4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分			
改善点	超高齢化社会の現在、福寿大学は必要な事業であると考えますが、実施形態など自主運営など運営委員と積極的に検討する必要がある。				多種多様な利用者が訪れる複合施設の特性を活かし、今後の事業企画やサークル活動に反映させる必要がある。			
館長評価	A	B	C	D	A	B	C	D
			1			2		
	<コメント> 学習の場、仲間づくりの場として、貴重なものであるが、今後は自主運営に切り替えられるよう支援をしてほしい。				<コメント> 複合館の連携事業は初めてであるが、実施後の検証を行い次回実施につなげてほしい。			
評価区分	A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止				A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止			

江南区運営審議会委員意見

・インターンシップの大学生による子ども体験事業は子どもにとって良い体験であると同時に学生にとっても指導、統率の経験となっているので継続してほしい。
・限られた予算の中で、それぞれの分野の事業が有効に行われたことが伺える。今後の課題としては、今までのものをそのまま継続するのではなく、今日的課題や社会的ニーズをしっかりと捉えて事業に取り組んでいく必要がある。また、自主活動で運営できるものは支援を強化して自立させていくことも大切である。公民館としての方針を明確にして新たな改革に取り組んで欲しい。

●評価の観点

【必要性】

1. 意図することが結果に結び付いている
2. 事業の目的が教育ビジョンや公民館の基本方針等に合致している
3. 市が税金をかけて行う必要がある
4. 事業の目的、成果から見て、対象や事業の狙いを見直す必要はない
5. この事業を廃止した場合、支障がある

【有効性】

1. 達成度は満足できる
2. 成果指標の目標値を達成するために、事業内容や集団は適当だった
3. 他機関との連携が図られている

【効率性】

1. この事業の成果に費やした労力は適当だった
2. この事業の成果に費やした時間は適当だった
3. この事業の成果に費やした事業費は適当だった
4. 参加者の実費負担額は適当だった

●館長評価

- A 事業の拡大
- B 現行どおり(事業の見直しを含む)
- C 事業の縮小
- D 事業の廃止

平成29年度事業評価シート(大江山公民館)

総事業数(2) 1. コミュニティ(1) 2. 学社民(0) 3. 家庭教育(0) 4. 青少年(0) 5. 高齢者(0) 6. 現代的課題(0) 7. その他(1)

重点名	1. 地域コミュニティ活動の活性化を支援する事業				2. 学・社・民の融合による人づくり、地域づくりを推進する事業				3. 家庭の教育力の向上を支援する事業				4. 青少年の生きる力を育む事業			
事業数	2 事業 ・大江山地域学事業				事業				事業				事業			
ねらい	地域の歴史を見つめ直すことで、地域の宝を再発見し、後世への継承と地域活性化を図る。															
成果		目標値	結果	コメント		目標値	結果	コメント		目標値	結果	コメント		目標値	結果	コメント
	サークル結成数	-	-		サークル結成数	-			サークル結成数	有			サークル結成数	-		
	企画委員希望者数	/	-		企画委員希望者数	/			企画委員希望者数	/			企画委員希望者数	/		
	受講者の満足度(平均値)	80%		アンケート未実施	受講者の満足度(平均値)	80%			受講者の満足度(平均値)	80%			受講者の満足度(平均値)	80%		
	受講者の気づき(平均値)	80%		アンケート未実施	受講者の気づき(平均値)	80%			受講者の気づき(平均値)	80%			受講者の気づき(平均値)	80%		
	その他成果(品)及びその活用等	/		運営委員により、安定した開催となっている。	その他成果(品)及びその活用等	/			その他成果(品)及びその活用等	/			その他成果(品)及びその活用等	/		
評点		評点	コメント			評点	コメント			評点	コメント			評点	コメント	
	必要性(平均値)	3	積極的な学習成果の活用		必要性(平均値)				必要性(平均値)				必要性(平均値)			
	有効性(平均値)	4			有効性(平均値)				有効性(平均値)				有効性(平均値)			
	効率性(平均値)	4	運営委員が機能している		効率性(平均値)				効率性(平均値)				効率性(平均値)			
評点区分	4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分				4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分				4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分				4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分			
改善点	地域住民が自らの地域の歴史などを学ぶ機会として、非常に有効な講座であることから、今後は、この学習成果をいかに後世へ継承し、地域活の活性化につなげることができるかを検討する。															
館長評価	A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D
		1				3										
	<コメント> 住民の主体的な学習活動であり、安定した開催となっている。今後は、学びの循環をどのように地域に活かすかを学習者と考える必要がある。				<コメント>				<コメント>				<コメント>			
評価区分	A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止				A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止				A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止				A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止			

重点名	5. 高齢者の学習や社会参加を支援する事業				6. 現代的課題を探り、解決を支援する事業			
事業数	事業				事業			
ねらい								
成果		目標値	結果	コメント		目標値	結果	コメント
	サークル 結成数	—			サークル 結成数			
	企画委員 希望者数	/			企画委員 希望者数	/		
	受講者の満足度(平均値)	80%			受講者の満足度(平均値)	80%		
	受講者の気 づき(平均値)	80%			受講者の気 づき(平均値)	80%		
評点		評点	コメント			評点	コメント	
	必要性 (平均値)				必要性 (平均値)			
	有効性 (平均値)				有効性 (平均値)			
	効率性 (平均値)				効率性 (平均値)			
評点区分	4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分				4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分			
改善点								
館長 評価	A	B	C	D	A	B	C	D
	<コメント>				<コメント>			
評価区分	A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止				A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止			

江南区運営審議会委員意見

・大江山地域学事業は地域の歴史、宝などを自主的に学習し充実している。地元住民への伝達、周知を行い発展してほしい。
 ・限られた予算の中で、それぞれの分野の事業が有効に行われたことが伺える。今後の課題としては、今までのものをそのまま継続するのではなく、今日的課題や社会的ニーズをしっかりと捉えて事業に取り組んでいく必要がある。また、自主活動で運営できるものは支援を強化して自立させていくことも大切である。公民館としての方針を明確にして新たな改革に取り組んで欲しい。

●評価の観点

【必要性】

1. 意図することが結果に結び付いている
2. 事業の目的が教育ビジョンや公民館の基本方針等に合致している
3. 市が税金をかけて行う必要がある
4. 事業の目的、成果から見て、対象や事業の狙いを見直す必要はない
5. この事業を廃止した場合、支障がある

【有効性】

1. 達成度は満足できる
2. 成果指標の目標値を達成するために、事業内容や集団は適当だった
3. 他機関との連携が図られている

【効率性】

1. この事業の成果に費やした労力は適当だった
2. この事業の成果に費やした時間は適当だった
3. この事業の成果に費やした事業費は適当だった
4. 参加者の実費負担額は適当だった

●館長評価

- A 事業の拡大
- B 現行どおり(事業の見直しを含む)
- C 事業の縮小
- D 事業の廃止

平成29年度事業評価シート(曾野木地区公民館)

総事業数(19)

1. コミュニティ(1) 2. 学社民(3) 3. 家庭教育(4) 4. 青少年(6) 5. 高齢者(1) 6. 現代的課題(2) 7. その他(2)

重点名	1. 地域コミュニティ活動の活性化を支援する事業				2. 学・社・民の融合による人づくり, 地域づくりを推進する事業				3. 家庭の教育力の向上を支援する事業				4. 青少年の生きる力を育む事業							
事業数	1事業		地域の絆1		3事業		出前講座3		4事業		家庭教育学級2・サロン1・保育者交流1		6事業		体験活動5・居場所1・学習室1					
ねらい	地域コミュニティの活性化を図るために地域住民と連携し、地域の人を元気にする事業を展開する。				学校と連携した事業を開催することで地域の人が学校に親しみを持ち、学校ボランティアにかかわるきっかけをつくることを目指す。				乳幼児の子どものごころと身体の成長発達を学びながら同世代の子どもを持つ親同士交流を深め、子育てについての不安や悩みを軽減するとともに、人となりがり仲間をつくる機会となるよう支援する。				様々な体験活動をとおして、子どもたちの豊かなこころを育むための事業を展開する。また、異年齢や他校の子どもたちとの交流の場になるよう支援する。							
成果	目標値	結果	コメント		目標値	結果	コメント		目標値	結果	コメント		目標値	結果	コメント					
	サークル結成数				サークル結成数				サークル結成数	有	1	ゆりかご学級からサークル	サークル結成数							
	企画委員希望者数	/	10	まなびやサロンの企画委員が10人	企画委員希望者数	/			企画委員希望者数	/	3	幼児期家庭教育学級の企画委員が3人	企画委員希望者数	/						
	受講者の満足度(平均値)	80%		アンケート未実施	受講者の満足度(平均値)	80%	100%	アンケート未実施	受講者の満足度(平均値)	80%	96%	幼児期の満足度は高く100%であった。	受講者の満足度(平均値)	80%		アンケート未実施				
	受講者の気づき(平均値)	80%		アンケート未実施	受講者の気づき(平均値)	80%	65%		受講者の気づき(平均値)	80%	80%	学習意欲が高くサークルになった。	受講者の気づき(平均値)	80%		アンケート未実施				
	その他成果(品)及びその活用等	/			その他成果(品)及びその活用等	/			その他成果(品)及びその活用等	/			その他成果(品)及びその活用等	/						
評点	評点	コメント			評点	コメント			評点	コメント			評点	コメント						
	必要性(平均値)	4	多世代交流ができるような事業を開催していく必要がある。			必要性(平均値)	4	学校との連携事業は今後も必要			必要性(平均値)	4	意図したことが十分結果に結びついている。			必要性(平均値)	3.8	意図したことが十分結果に結びついている。		
	有効性(平均値)	4	学校・地域と一緒に進んでいる地域づくりのための事業			有効性(平均値)	4	地域のつながりができ、満足度も95%と高評価。			有効性(平均値)	3	達成度は満足いく結果であり、継続して実施することが必要。			有効性(平均値)	3.8	体験活動は、きもだめしも料理教室も大人気で参加者も増え		
	効率性(平均値)	3	スイカ割りのスイカ代がかかるので実費負担も検討。			効率性(平均値)	3	花育マスター制度の利用で良かった。			効率性(平均値)	4	適当だった。			効率性(平均値)	4	適当だった		
評点区分	4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分				4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分				4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分				4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分							
改善点	・スタッフを募集しマンネリ化を防ぐ。また、自主的に運営していけるよう助言・指導をしていく。 ・財政難のため来年度はスイカ割り大会にかかわる事業をしていかなければならない。				曾野木小学校と連携し会場も学校で開催。来年は学校を変えて開催していきたい。				応募者が定員を大幅に超えてしまうほど必要とされている講座である。なんとか一人でも多くの人から学んでいただきたいので事業費を増やしてほしい。				子ども事業は、公民館活動協力員とボランティアスタッフの人の力を借りて開催されている。地域の人など子どもを見守ってくれる人材の育成が必要である。							
館長評価	B	C	D		A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D				
	1				1				4				7							
評価区分	<コメント>この事業は、沢山の地域の人に理解と協力をいただき開催されている。この事業が地域になくはならない存在になってくれることを願っている。あと数年で地域のみなさんが自立し開催できるよう指導していきたい。				<コメント>3事業の開催だったが、「この講座をきっかけに小学校に来ることができました」と喜んでくださった方がいました。さらに、学校のボランティア活動もしたいと申し出て下さった方もいました。小学校の教育コーディネーターの方の協力をいただき実現した。				<コメント>家庭教育学級は、公民館の事業の中でも大切な事業になっている。子どもの発達の特徴を学んだり、親の不安を少しでも軽減したりする学習である。初めて親になる人のために今後も開催していかなければならない事業である。				<コメント>定番のきもだめし大会は年々参加者が増えている。子どもたちに喜んでもらえる事業を今後も企画していきたい。							
	A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止				A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止				A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止				A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止							

重点名	5. 高齢者の学習や社会参加を支援する事業				6. 現代的課題を探り、解決を支援する事業			
事業数	1事業 高齢者いきいき教室				2事業 人権講座1・市民学級1			
ねらい	健康でいきいきと暮らすための生きがいを見つけ、楽しい毎日を過ごすためのきっかけづくりとする。				様々な市民のニーズに応えるために多種多様な事業を展開する。必要課題と要求課題をきちんと把握し、市民にとってより良い事業を実施する。			
成果		目標値	結果	コメント		目標値	結果	コメント
	サークル結成数	有	1		サークル結成数			
	企画委員希望者数				企画委員希望者数			人権講座に8人 市民学級に4人
	受講者の満足度(平均値)	80%	92%	筋肉を高めることが健康とつながっている。	受講者の満足度(平均値)	80%	88%	どちらの講座も男性の参加が増えた。
	受講者の気づき(平均値)	80%	68%	健康のため継続していきいたいと思う人が多かった。	受講者の気づき(平均値)	80%	81%	参加したことで沢山の気づきがあった。
その他成果(品)及びその活用等				その他成果(品)及びその活用等				
評点		評点	コメント			評点	コメント	
	必要性(平均値)	4	意図したことが十分結果に結びついている。		必要性(平均値)	4	意図したことが十分結果に結びついている。	
	有効性(平均値)	3	参加者の満足度は高かった。		有効性(平均値)	3.5	お互い尊重し楽しく学ぶことができた。	
	効率性(平均値)	4	適当だった。		効率性(平均値)	4	適当だった。	
評点区分	4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分				4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分			
改善点	今年も自主サークルになり4月からスタートした。ただし、公民館のサポートは必要。				男性の参加が多い講座ではあるが、まだまだ少ない。なんとか男女の割合が半分半分になるような企画ができるようにしたい。			
館長評価	A	B	C	D	A	B	C	D
		1				2		
	<コメント> 自主グループになり今年度は不定期利用登録をするなど積極的に活動していることは高く評価できる。				<コメント>参加者も多世代にわたり、人権について学習したり現代的課題をみつけ学ぶことは大切である。企画委員と一緒に企画運営することは、学習の幅を広げるだけでなく、沢山の情報を得ることができた。			
評価区分	A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止				A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止			

江南区運営審議会委員意見

・おとなの雑学は学社民の融合による人づくり、地域づくりに成果をあげ、地域や学校に溶け込むきっかけづくりとして有効である。今後も学校やコーディネーターと協力し継続してほしい。
 ・企画委員や地域住民の協力を得て行われている事業が多いことと、住民のニーズを汲み取って事業に反映していることが参加者を多くしている要因の一つと考える。今後も、協働を大切にした公民館運営を行うとともに、地域に出向くなど、公民館を自ら飛び出す活動にもチャレンジして欲しい。

●評価の観点

【必要性】

1. 意図することが結果に結び付いている
2. 事業の目的が教育ビジョンや公民館の基本方針等に合致している
3. 市が税金をかけて行う必要がある
4. 事業の目的、成果から見て、対象や事業の狙いを見直す必要はない
5. この事業を廃止した場合、支障がある

【有効性】

1. 達成度は満足できる
2. 成果指標の目標値を達成するために、事業内容や集団は適当だった
3. 他機関との連携が図られている

【効率性】

1. この事業の成果に費やした労力は適当だった
2. この事業の成果に費やした時間は適当だった
3. この事業の成果に費やした事業費は適当だった
4. 参加者の実費負担額は適当だった

●館長評価

- A 事業の拡大
- B 現行どおり(事業の見直しを含む)
- C 事業の縮小
- D 事業の廃止

平成29年度事業評価シート(両川公民館)

総事業数(4) 1. コミュニティ() 2. 学社民() 3. 家庭教育() 4. 青少年(2) 5. 高齢者() 6. 現代的課題(1) 7. その他(1)

重点名	1. 地域コミュニティ活動の活性化を支援する事業				2. 学・社・民の融合による人づくり, 地域づくりを推進する事業				3. 家庭の教育力の向上を支援する事業				4. 青少年の生きる力を育む事業				
事業数	事業				事業				事業				2事業 体験活動5・居場所1・学習室1				
ねらい													様々な体験活動をとおして、子どもたちの豊かなこころを育むための事業を展開する。また、異年齢や他校の子どもたちとの交流の場になるよう支援する。				
成果	目標値	結果	コメント		目標値	結果	コメント		目標値	結果	コメント		目標値	結果	コメント		
	サークル結成数				サークル結成数				サークル結成数				サークル結成数				
	企画委員希望者数	/			企画委員希望者数	/			企画委員希望者数	/			企画委員希望者数	/			
	受講者の満足度(平均値)	80%			受講者の満足度(平均値)	80%			受講者の満足度(平均値)	80%			受講者の満足度(平均値)	80%		アンケート未実施	
	受講者の気づき(平均値)	80%			受講者の気づき(平均値)	80%			受講者の気づき(平均値)	80%			受講者の気づき(平均値)	80%		アンケート未実施	
	その他成果(品)及びその活用等	/			その他成果(品)及びその活用等	/			その他成果(品)及びその活用等	/			その他成果(品)及びその活用等	/			
評点	評点	コメント			評点	コメント			評点	コメント			評点	コメント			
	必要性(平均値)				必要性(平均値)				必要性(平均値)				必要性(平均値)	4	意図したことが十分結果に結びついている。		
	有効性(平均値)				有効性(平均値)				有効性(平均値)				有効性(平均値)	3	ヒップホップダンスという新しい体験をすることができた。		
	効率性(平均値)				効率性(平均値)				効率性(平均値)				効率性(平均値)	4	適当だった。		
評点区分	4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分				4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分				4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分				4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分				
改善点													子ども事業は、公民館活動協力員とボランティアスタッフの人の力を借りて開催されている。地域の人など子どもを見守ってくれる人材の育成が必須である。				
館長評価	A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D	
										4				2			
評価区分	A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止				A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止				A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止				A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止				
コメント	<コメント>				<コメント>				<コメント>				<コメント> 子どもたちが集まりにくい環境なので、口コミや呼びかけをするなど手をつくし参加者を募ることが必要。来年度も子どもたちに喜んでもらえる事業の企画をしていきたい。				

重点名	5. 高齢者の学習や社会参加を支援する事業				6. 現代的課題を探り、解決を支援する事業			
事業数	事業				1事業 両川元気塾			
ねらい					様々な市民のニーズに応えるために多種多様な事業を展開する。必要課題と要求課題をきちんと把握し、市民にとってより良い事業を実施する。			
成果		目標値	結果	コメント		目標値	結果	コメント
	サークル結成数				サークル結成数			
	企画委員希望者数	/			企画委員希望者数	/		
	受講者の満足度(平均値)	80%			受講者の満足度(平均値)	80%		
	受講者の気づき(平均値)	80%			受講者の気づき(平均値)	80%		
その他成果(品)及びその活用等	/			その他成果(品)及びその活用等	/			
評点		評点	コメント			評点	コメント	
	必要性(平均値)				必要性(平均値)	3		
	有効性(平均値)				有効性(平均値)	3		
	効率性(平均値)				効率性(平均値)	4		
評点区分	4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分				4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分			
改善点					両川の人たちが参加しやすい事業の内容を考え参加者をもっと増やしたい。			
館長評価	A	B	C	D	A	B	C	D
						1		
	<コメント>				<コメント>両川公民館での開催は参加が少なかったが今回、募集人員より多くの参加があった。内容によっては参加者の増が見込まれるので来年度も地域の要望を聞き内容を検討したい。			
評価区分	A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止				A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止			

江南区運営審議会委員意見

- ・元気塾は住民の参加意欲をかきたてる内容で多くの参加があった。これからも参加希望が多い事業を検討し実施してほしい。
- ・特に住民の関心が低い部分への支援をお願いしたい。

●評価の観点

【必要性】

1. 意図することが結果に結び付いている
2. 事業の目的が教育ビジョンや公民館の基本方針等に合致している
3. 市が税金をかけて行う必要がある
4. 事業の目的、成果から見て、対象や事業の狙いを見直す必要はない
5. この事業を廃止した場合、支障がある

【有効性】

1. 達成度は満足できる
2. 成果指標の目標値を達成するために、事業内容や集団は適当だった
3. 他機関との連携が図られている

【効率性】

1. この事業の成果に費やした労力は適当だった
2. この事業の成果に費やした時間は適当だった
3. この事業の成果に費やした事業費は適当だった
4. 参加者の実費負担額は適当だった

●館長評価

- A 事業の拡大
- B 現行どおり(事業の見直しを含む)
- C 事業の縮小
- D 事業の廃止

平成29年度事業評価シート(横越地区公民館)

総事業数(21) 1. コミュニティ(6) 2. 学社民(1) 3. 家庭教育(5) 4. 青少年(3) 5. 高齢者(1) 6. 現代的課題(5) 7. その他(0)

重点名	1. 地域コミュニティ活動の活性化を支援する事業				2. 学・社・民の融合による人づくり、地域づくりを推進する事業				3. 家庭の教育力の向上を支援する事業				4. 青少年の生きる力を育む事業			
事業数	6事業 地域学・スポーツ大会・ふれあいウォーク等				1事業 ふれあいスクール出前型				5事業 家庭教育学級(4)子育て広場(1)				3事業 体験活動(1)映画会(1)学習室開放(1)			
ねらい	地域団体・地域住民と共に学習機会やイベント等を開催することにより、地域コミュニティづくりの推進の機会とする。				学・社・民の相互の連携及び協力により、学校を会場に社会教育活動をおし、地域に開かれた学校にする機会とする。				家庭教育の重要性・必要性を学ぶと共に、子育て中の保護者の仲間づくりの機会と情報提供で子育て支援を実施する。				青少年の健全育成を図ると共に、体験活動をおし異学年の交流を深める機会とする。			
成果	目標値	結果	コメント		目標値	結果	コメント		目標値	結果	コメント		目標値	結果	コメント	
	サークル結成数				サークル結成数				サークル結成数	1	ゆりかご学級	サークル結成数				
	企画委員希望者数		0人	各種イベントは、打合せ会議を開催し実施	企画委員希望者数		3人		企画委員希望者数		11人	ゆりかご学級 児童教育学級	企画委員希望者数		0人	各事業打ち合わせ会議を実施
	受講者の満足度(平均値)	80%	100%	地域学の満足度	受講者の満足度(平均値)	80%	90%		受講者の満足度(平均値)	80%	100%	満足度は高い。	受講者の満足度(平均値)	80%	100%	新たな体験及び異学年の交流が行えた。
	受講者の気づき(平均値)	80%	90%	地域学の気づき	受講者の気づき(平均値)	80%	80%	ワークショップを準備していたが出来ず、気づきの評価が低かった。	受講者の気づき(平均値)	80%	100%	講座内容が良かったと考えられる。	受講者の気づき(平均値)	80%	100%	新たな体験及び異学年の交流が行えことにより、
その他成果(品)及びその活用等			地域団体との連携が良く行われている。	その他成果(品)及びその活用等				その他成果(品)及びその活用等			自主サークルが結成されたが、その後フォローアップが大切になる。	その他成果(品)及びその活用等			新潟卸売市場・長岡高等工業専門学校・新潟大学工学部等・活動協力員や中学生など、多くの方から協力を得て実施出来た。	
評点	評点	コメント			評点	コメント			評点	コメント			評点	コメント		
	必要性(平均値)	4	地域行事として定着して来ている。			必要性(平均値)	4	公民館事業として必要である。			必要性(平均値)	4	公民館事業として必要である。			
	有効性(平均値)	4	地域団体の連携に繋がっている。			有効性(平均値)	4	達成度は満足できる。			有効性(平均値)	4	達成度は満足できる。			
	効率性(平均値)	4	最小限の経費で実施した。			効率性(平均値)	4	最小限の経費で実施した。			効率性(平均値)	4	最小限の経費で実施した。			
評点区分	4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分				4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分				4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分				4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分			
改善点	自治会・コミュニティ協議会・スポーツ振興会・青少年育成協議会・地域団体等との連携事業として実施しているが、今以上の連携を深め有意義な事業として行きたい。				これを機会に、地域の学校とよりよい連携事業を実施して行きたい。				市民による企画委員会の要求課題をプログラムに取り入れることにより、満足度の高い事業が展開されているし、自主グループも出来ていることから、満足しているが、毎年、同じ講師になりがちなので、新たな講師の発掘し実施する。				学校で体験出来ない事業を取り入れ、地域住民を講師に招き地域とのふれあひも大切にしてほしい。			
館長評価	A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D
		6				1				5				4		
評価区分	<コメント> 地域行事として定着してきていることから、今以上のコミュニティ活性化に向け、継続する。				<コメント> 中学校が避難所になっていることから、地域の人達から学校で防災について学んでもらい、併せて中学校の現状・学校給食の地産地消についても食べながら説明を受け受講者からは好評であった。				<コメント> 発達段階に応じ家庭教育を学ぶ場合は、公民館しかないことから、今以上に市民の声を反映させた学習機会の提供を行ってゆきたい。				<コメント> 自主グループ化を目指し、参加者の自主性を尊重しながら、自ら学ぶことの必要性を取り入れたプログラムで開催する。			
	A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止				A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止				A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止				A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止			

重点名	5. 高齢者の学習や社会参加を支援する事業				6. 現代的課題を探り、解決を支援する事業			
事業数	1事業 いいききセミナー				5事業 女性講座・地下道清掃ほか			
ねらい	高齢者を対象に、生きがいと教養を身につけると共に、講座で得た知識や生き方などを地域社会に役立てる機会とする。				現代課題である地域課題及び人権問題等をテーマに学習機会を提供し、受講生がともに考える機会とする。			
成果		目標値	結果	コメント		目標値	結果	コメント
	サークル結成数			参加者が自ら学ぼうとする自主性を育てることが必要である。	サークル結成数			
	企画委員希望者数		0人		企画委員希望者数		0人	
	受講者の満足度(平均値)	80%	86%	興味のあるプログラムでしたので、満足度が高かった。	受講者の満足度(平均値)	80%	100%	
	受講者の気づき(平均値)	80%	86%	興味のあるプログラムでしたので、満足度が高かった。	受講者の気づき(平均値)	80%	80%	
その他成果(品)及びその活用等			消費者協会、金融広報委員会等の協力を得て実施出来た。	その他成果(品)及びその活用等				
評点		評点	コメント			評点	コメント	
	必要性(平均値)	4	公民館事業として必要である。		必要性(平均値)	4	公民館事業として必要である。	
	有効性(平均値)	4	達成度は満足できる。		有効性(平均値)	4	達成度は満足できる。	
	効率性(平均値)	4	最小限の経費で実施した。		効率性(平均値)	4	最小限の経費で実施した。	
評点区分	4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分				4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分			
改善点	参加者のリピーターが多いことから、自主グループ化を目指し、参加者の自主性を尊重しながら、自ら学ぶことの必要性を取り入れたプログラムで開催する。				人権問題についての講座が実施されなかったため、来年度は是非実施したい。			
館長評価	A	B	C	D	A	B	C	D
		1				5		
	<コメント> 自主グループ化を目指したが、結成されなかったことから、講座の中に参加者の自主性を育成するプログラムを取り入れて開催することが、必要と思われる。				<コメント> 地域の現代的課題については、活動協力員の意見などを参考に取組んでいきたい。			
評価区分	A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止				A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止			

江南区運営審議会委員意見

・地域学、スポーツ大会、ふれあいウォーク等は、自治会、コミュニティ協議会、スポーツ振興会等の連携が円滑に行われている。これからも文化、伝統、歴史、スポーツを通し地域コミュニティづくりを発展させてほしい。
 ・各事業とも、自己評価が4と高くなっており、充実した事業内容だったことが伺える。事業を見てみると、自治会やコミュニティ協議会などの地元連携事業が多く、かなりの予算もそこに使われている。しかし、これからの公民館事業の在り方を考えた時、誰でも参加できる開かれた公民館事業への変革も必要になってくる。ぜひ、新しい事業への挑戦をお願いしたい。

●評価の観点

【必要性】

1. 意図することが結果に結び付いている
2. 事業の目的が教育ビジョンや公民館の基本方針等に合致している
3. 市が税金をかけて行う必要がある
4. 事業の目的、成果から見て、対象や事業の狙いを見直す必要はない
5. この事業を廃止した場合、支障がある

【有効性】

1. 達成度は満足できる
2. 成果指標の目標値を達成するために、事業内容や集団は適当だった
3. 他機関との連携が図られている

【効率性】

1. この事業の成果に費やした労力は適当だった
2. この事業の成果に費やした時間は適当だった
3. この事業の成果に費やした事業費は適当だった
4. 参加者の実費負担額は適当だった

●館長評価

- A 事業の拡大
- B 現行どおり(事業の見直しを含む)
- C 事業の縮小
- D 事業の廃止

平成30年度 公民館事業計画

亀田地区公民館				[H30.06.20現在]								
重点化	番号	事業名	事業内容	H29 予算 (千円)	H30 予算 (千円)	開設 数	対象	回数	時間	実施 予定月	募集 人数	連携・共催 (特記事項)
1. 地域コミュニティ活動の活性化を支援する事業	1	お亀楽縁	地域の希薄な関係を見直し、近所同士で気軽に助け、支え合える関係づくりをサポートすると共に、地域課題解決のための人材を育成する	70	26	1	総合	6	午後	5.7.9.11 1.3月	-	江南区社会福祉協議会
	2	コミュニティ・コーディネーター育成講座	地域の課題解決に対する取り組みの中心的役割を担うコミュニティ・コーディネーターを育成する	-	180	1	成人	未定	未定	未定	未定	
	3	茶の間の学校	地域の茶の間開設支援、および既存団体の活動支援	-	-	1	成人	3	午前 午後	10月	40	地域包括ケア推進課 江南区社会福祉協議会 江南区健康福祉課 亀田地区公民館活動協力員
	4	活動協力員実施事業	活動協力員との連携による企画実施事業	85	38	1	成人	4	午前	9~10 月	未定	
2. 学・社・民の融合による人づくり、地域づくりを推進する事業	5	子ども夏まつり in KAMEDA	亀田地区青少年育成協議会と連携し科学に関する工作体験活動を実施	-	-	1	少年	1	午後	8月	-	育成協予算
	6	ふれあいスクール事業【公民館出前講座】	学校へ出向き、空き教室等を利用した講座	-	59	1	総合	3	午前	随時	未定	各学校地域教育コーディネーター
3. 家庭における教育力向上を支援する事業	7	プレママパパ講座	妊娠中の親が安心して子育てができるための講座	37	31	1	成人	3	午前	5~6月	20	
	8	乳児期家庭教育【ゆりかご学級2期】	乳児期の家庭教育における課題を学び合う講座	206	170	1	成人	5	午前	6~7月	30	
	9	乳児期家庭教育【ゆりかご学級4期】	乳児期の家庭教育における課題を学び合う講座	206	171	1	成人	5	午前	1~2月	30	
	10	家庭教育講演会	公民館出前講座(学校・コミ協・保育園・企業等と連携した家庭教育講演会)	131	109	1	成人	5	午前 午後 夜間	6~3月	未定	
	11	児童期家庭教育学級	児童期の家庭教育における課題を学び合う講座	81	67	1	成人	4	午前	6~7月	20	
	12	父親学級	父親としてのあり方を考える講座	41	34	1	成人	5	午前 午後 夜間	6~9月	20	
	13	カムかめねつと編集	子育て情報誌の編集	30	25	1	成人	未定	午後	通年	-	
	14	プチプチひろば	0歳児と保護者のための居場所	16	13	1	総合	24	午前	通年	-	毎月第2・4火曜日開催
	15	おはよう朝ごはん料理講習会【早通小コミ協】	子どもたちの基本的生活習慣の形成と地域・家庭の教育力の向上及び地域づくり・組織づくりを推進する	-	-	1	総合	1	午前 午後	未定	未定	※生涯学習センター予算
	4. 青少年の生きる力を育む事業	16	中・高校生向け学習室	第2・第4土曜日に学習室を開放	1	1	1	青年	24	午前 午後	通年	-
17		学習室【夏休み・春休み】(音楽室解放含む)	夏休み、春休み期間中の学習室及び音楽室開放	-	-	2	青年	未定	午前 午後	7~8月 3月	-	
18		子ども体験事業	学校区を超えての仲間と様々な体験を通じ、助け合うこと・協力することを学ぶ講座	102	73	1	少年	未定	午前 午後	未定	未定	
5. 高齢者の学習や社会参加を支援する事業	19	福寿大学	高齢者の自主活動の支援、生きがいを見出す講座	160	110	1	高齢者	180	午前 午後	通年	-	
6. 現代的課題を探り、解決を支援する事業	20	芸術に親しむセミナー	芸術に親しむための講座	30	47	1	成人	5	午前 午後	10~11 月	10	
	21	江南区文化会館合同事業 たまたまKOBU	公民館・図書館・郷土資料館との連携事業を行うことで、利用者の拡大と交流を図る事業	-	18	1	総合	1	午前 午後	9月	-	
7. その他	22	かめだ音楽祭	合唱・演奏団体の発表会	76	30	1	総合	1	午前 午後	11月	-	かめだ音楽祭実行委員会(実行委員会3回開催)
	23	亀田地区市民文化展	作品展示・茶席ほか	208	120	1	総合	1	午前 午後	11月	-	亀田地区市民文化展実行委員会
	24	公民館体験学習	亀田地区公民館利用サークルの体験学習	-	-	1	総合	未定	午前 午後 夜間	3月	未定	公民館利用団体
合 計				1,480	1,322	25	-	281	-	-	170	

大江山公民館				[H30.06.20現在]								
重点化	番号	事業名	事業内容	H29 予算 (千円)	H30 予算 (千円)	開設 数	対象	回数	時間	実施 予定月	募集 人数	連携・共催 (特記事項)
1. 地域コミュニティ活動の活性化を支援する事業	1	大江山地域学事業	大江山地区の歴史を見つめ直すことで、地域の宝を再発見し、後世への継承と地域活性化を図る	-	26	1	総合	1	午後	3月	50	大江山コミ協
7. その他	2	文化とスポーツの祭典	作品展示、芸能発表、各種スポーツ大会	-	-	1	総合	1	午前 午後	11月	1,000	文化とスポーツの祭典実行委員会主催
合 計				0	26	2	-	2	-	-	1,050	

平成30年度 公民館事業計画

曾野木地区公民館		[H30.06.20現在]										
重点化	番号	事業名	事業内容	H29 予算 (千円)	H30 予算 (千円)	開設 数	対象	回数	時間	実施 予定月	募集 人数	連携・共催 (特記事項)
1. 地域コミュニティ活動の活性化を支援する事業	1	まなびやサロンそのき	健康・介護・福祉など個人や地域が抱える諸問題について学ぶ。子どもたちとおとなと一緒に楽しめる催しも年4から5回くらい入れていく。	60	49	1	総合	12	午前 午後	通年	—	社会福祉協議会・曾野木小 教育コーディネーター・曾野木小 PTA・公民館活動協力員
2. 学・社・民の融合による人づくり、地域づくりを推進する事業	2	おとなの雑学	小中学校の教育コーディネーターと協議し事業内容を定める。	0	38	1	総合	3	午前	通年	20	曾野木・東曾野木・両川小中 学校教育コーディネーター
3. 家庭における教育力向上を支援する事業	3	乳児期家庭教育学級(ゆりかご学級)Ⅰ期	乳児期のこころと身体の発達について考える。	169	191	1	成人	5	午前	5~6	30	
			保育				1	乳児	5	午前	5~6	
	4	幼児期家庭教育学級	幼児期のこころと身体の発達について考える。	131	159	1	成人	4	午前	6~7	30	
			保育者との情報交換				1	乳幼児	4	午前	6~7	
	5	子育てサロンぽっかぽか	親子の居場所と情報交換	0	0	1	成人	21	午前	毎月 第24 月曜日	—	
	6	保育者交流会	保育者との情報交換	10	0	1	成人	1	午前	8	—	
4. 青少年の生きる力を育む事業	7	そのキッズ	子どもきもだめし大会	0	10	1	少年	1	夜間	7	30	公民館活動協力員・教育コー ディネーター・まなびやサロン そのきスタッフ
	8		工作・レクリエーション・調理など(曾野木小学校)	0		1	少年	1	午前	8	20	公民館活動協力員・教育コー ディネーター
	9		工作・レクリエーション・調理など(東曾野木小学校)	0		1	少年	1	午前	8	20	公民館活動協力員・教育コー ディネーター
	10		夏休み子ども映画会	0	0	1	少年	2	午前	8	—	公民館活動協力員・教育コー ディネーター
	11	子どもの居場所	小中高校生フリースペース	4	0	1	少年	347	午前 午後	通年	—	
	12	学習室開放事業	個人学習の支援	0	0	1	総合	83	午前 午後	4・7~8 12~1・ 3	—	毎月第1・3土曜日 長期休み(春・夏・冬)
	5. 高齢者の学習や社会参加を支援する事業	13	高齢者いきいき教室	高齢者がいきいきと楽しく学べるもの	73	69	1	高齢者	5	午前	9~10	40
6. 現代的課題を探り、解決を支援する事業	14	そのき市民学級	現代的課題とタイムリーな話題を取り上げ学習する	120	80	1	総合	7	午前 午後	6~12	100	そのき市民学級実行委員会
	15	共生セミナー	男女共同参画社会の実現に向けて自身の生き方を考え共に生きる社会の在り方を学ぶ。	140	126	1	成人	5	午前	9~10	30	企画委員(前年度受講生・公 民館活動協力員)
保育			1				乳幼児	5	午前	9~10	18	
7. その他	16	そのきミュージックフェスティバル	洋楽器、コーラスの発表(企画会議実施)	0	4	1	総合	1	午後	7	—	実行委員会
	17	曾野木地区文化祭	作品展示、チャリティバザー、音楽芸能発表会など	10	5	1	総合	1	午前 午後	10	—	実行委員会
合 計				717	731	20	—	514	—	—	378	

両川公民館		[H30.06.20現在]										
重点化	番号	事業名	事業内容	H29 予算 (千円)	H30 予算 (千円)	開設 数	対象	回数	時間	実施 予定月	募集 人数	連携・共催 (特記事項)
4. 青少年の生きる力を育む事業	1	子ども体験教室	工作・レクリエーション・調理など	0	8	1	少年	1	午前	8	20	公民館活動協力員・教育コー ディネーター
6. 現代的課題を探り、解決を支援する事業	2	両川元気塾	「60歳から始める元気」づくり	0	16	1	総合	2	午後	11~12	20	
7. その他	3	両川地区文化祭	作品展示、チャリティバザーなど	0	0	1	総合	1	午前 午後	11	—	利用団体連絡協議会
合 計				0	24	3	—	4	—	—	40	

平成30年度 公民館事業計画(案)

〔H30.06.20現在〕

横越地区公民館												
重点化	番号	事業名	事業内容	H29 予算 (千円)	H30 予算 (千円)	開設 数	対象	回数	時間	実施 予定月	募集 人数	連携・共催 (特記事項)
1. 地域コミュニティ活動の活性化を支援する事業	1	横越地区昔話語り部養成講座 part3	昔話を通して、地域の方言・生活文化を伝え、一層の文化・伝統の醸成を図る	206	130	1	総合	10	午前	5~10月 第2.4土	20	横越昔話語り部サークル
	2	婚活「蕎麦打ち体験」	少子・高齢化が大きな社会課題と成っている中、地元で収穫された蕎麦粉を使い「そば打ち体験」を通して男女の出会いの機会を提供する	210	-	1	成人	1	午前・午後	11月	50	横越コミュニティ協議会
	3	横越地区親善スポーツ大会	ソフトバレーボールを通じて、地域の連帯意識の向上と親睦を図る	65	-	1	総合	1	午前・午後	7月	-	自治会 横越コミュニティ協議会 横越スポーツ振興会
	4	よこごしふれあいウォーク2018	横越地区内のポイントをつなぐウォークにより、地域を知りながら親睦を図る	65	65	1	総合	1	午前・午後	9月	-	自治会、横越地区青少年育成協議会、横越コミュニティ協議会
	5	文化祭	横越地域で活動している市民の作品展示およびイベント	334	198	1	総合	1	午前・午後	11月	-	-
	6	新春俳句大会	発表会と親睦を兼ねた俳句会	15	15	1	成人	1	午前	1月	-	-
2. 学・社・民の融合による人づくり、地域づくりを推進する事業	7	地下道清掃	横越出張所付近の地下道を中学生を中心に、小学生や教員・保護者及び近隣住民で清掃する。	-	-	1	総合	1	午前	10月	-	横越小・中学校、横越コミュニティ協議会、JA
3. 家庭における教育力向上を支援する事業	8	乳児期家庭教育学級【ゆりかご学級3期】	乳児期の子どもの発達や家庭教育の重要性を学ぶ	178	178	1	成人	5	午前	10月	30	-
	8-1	乳児期家庭教育学級【ゆりかご学級3期】保育	乳児期家庭教育学級 保育	-	-	1	成人	5	午前	10月	20	-
	9	幼児期家庭教育学級	幼児期の子どもの発達や家庭教育の重要性を学ぶ	113	113	1	成人	5	午前	8・9月	20	-
	9-1	幼児期家庭教育学級 保育	幼児期家庭教育学級 保育	-	-	1	成人	5	午前	8・9月	20	-
	10	児童期・思春期家庭教育学級	児童期・思春期の子どもの発達や親子のコミュニケーションの重要性・スキルを学ぶ	140	107	1	成人	4	午前	後期	30	-
	10-1	児童期・思春期家庭教育学級 保育	児童期・思春期家庭教育学級 保育	-	-	1	成人	4	午前	後期	未定	-
4. 青少年の生きる力を育む事業	11	子育てひろば	乳幼児の親子の仲間づくり、情報交換、親子遊び、絵本の読み聞かせ	125	80	1	成人	20	午前	毎月 第1.3火	-	-
	12	子ども体験活動	小学生対象の夏・冬休み時に実施する体験事業	129	116	1	少年	2	午前・午後	8・12月	80	-
	13	夏・冬・春学習室開放	長期休暇中の小・中・高校生対象に学習室を開放	-	-	1	青少年	50	午前・午後	7・8月 12・3月	-	-
	14	夏休み子ども映画会	DVD上映	-	-	1	総合	1	午前	8月	-	-
	15	春休み子ども映画会	DVD上映	-	-	1	総合	1	午前	3月	-	-
5. 高齢者の学習や社会参加を支援する事業	16	いきいきセミナー	生きがいと教養を身につける高齢者対象の講座	73	73	1	高齢者	7	原則午前	6~12月 第4木	25	-
6. 現代的課題を探り、解決を支援する事業	17	女性セミナー	男女の役割を見直し、生活技術を身につける。地域の仲間づくり推進とコミュニケーション能力を身につける	141	141	1	成人	5	午前	後期	未定	-
合 計				1,794	1,216	20	-	130	-	-	295	-